くみあいだより

JAなんぽろ

No.571
12
2024

JAなんぽろホームページアドレス　http://www.ja-nanporo.or.jp

南幌町産のお米の美味しさを伝えたい

南幌町と北海道文教大学との包括連携協定に基づく記念事業の一環として、11月14日（木）、北海道文教大学で新米贈呈式が行われました。

今回贈呈されたのは、「なんぽろピュアライスななつぼし」100kgで、贈呈式では、林組合長と大崎町長より渡部学長へ米俵が手渡されました。

新米の贈呈は今年で3回目となりますが、昨年に続き、学内の学生食堂にて100円カレーライスとして学生に振舞われており、本年はさらに11月14日のみ、健康栄養学科の学生が調理した、無農薬じゃがいもの焼きコロッケのトッピングもありました。

学生食堂に来た学生らは早速、カレーライスを注文しており、「お米がとても美味しい」という声がたくさん聞こえました。

林組合長からは、「今年も大変良いお米ができたので、学生の皆さんには是非ともおいしいお米をたくさん食べていただきたい」と話されました。

贈呈された新米でのカレーライスは、12月中旬まで5回に分けて提供されます。

実りの秋に感謝

11月25日（月）、南幌神社において収穫感謝祭が行われ、林組合長をはじめ全役員、青年部長、女性部長、各部署の部・室・次長が参加しました。

今年は、大きな自然災害や天候不良もなく、豊穣の秋が迎えられた1年となり、感謝の気持ちを込めて玉串奉奠を行いました。

来年も、今年以上の豊穣の秋を迎えられるように、また、組合員、ＪＡ職員等の無病息災を祈願して、お祓いをしていただきました。

秋の廃農ポリ・ビニール回収実施

11月19日(火)、ライスターミナルで廃農ポリ・ビニール回収が行われました。

当日は、南幌町産業振興課職員、ＪＡ資材課職員で荷降ろしや積込み、車両の誘導等を行いました。

受入れは、午前と午後で地区割を実施し組合員の皆様の協力もありスムーズに受け入れを行うことができました。

前日から雪が降っており、路面状況が悪いなか、たくさんの組合員が搬入を行い、のべ149台のトラックが搬入に訪れ、回収された廃棄物は約30ｔとなりました。

営農振興組合長会研修会開催

11月19日（火）、第7回営農振興組合長会議終了後に営農振興組合長会研修会を開催しました。

研修会は19名が参加し、石狩市にあるホクレンパールライス工場の施設見学を行いました。

見学では、工場の概要についてビデオを観たあと、米の調製ラインやパッケージに米を入れる作業工程の様子などを見学するとともに、それぞれの工程や歴史について説明を受けました。

研修会後には、札幌市のサッポロビール園にて慰労会が行われ、近況報告や本年の作柄についての情報交換などで大いに盛り上がりました。

東野ひでき君を励ます会を開催

11月18日(月)、JAなんぽろ3階大会議室で、来年夏の参議院選挙でJAグループ代表として立候補を予定している、東野ひでき氏をお招きし、「東野ひでき君を励ます会」を開催しました。

当日は多くの組合員、役職員出席のもと、林組合長より激励の言葉を贈り、ホクレンの篠原会長からも挨拶がありました。その後、東野氏より現在の北海道、日本の農業に対する熱い想いとともに決意表明がされました。

最後は青年部の奈良岡部長を先頭にガンバロー三唱が行われ、励ます会は終了しました。

青年部だより

JA YOUTH
発行者
JAなんぽろ青年部
編集責任者　若杉宗樹

青年部研修会で経営について学ぶ

10月25日（金）、JA3階大会議室で金融部経営相談課職員を講師として、青年部研修会を行いました。

研修会では、「組合員勘定(クミカン)制度について」のテーマのもと、石橋係長（金融部・経営相談課）より説明が行われました。

研修ではクミカンの成り立ちや仕組み、メリットなどの説明が行われ、盟友らは真剣に話を聞いていました。

今回の参加者の中には青年部に入部する予定の方も数名おり、大変有意義な研修となりました。

JA青年部では、今後も盟友一人一人が今後の農業情勢に目を向けられる様な活動や研修を行っていきます。

スポーツで他単組と親睦を深める

10月29日（火）、栗沢B&G海洋センターにて、空知南部ブロック8単組の青年部によるミニバレーボール大会が開催されました。

当JAからは、盟友とJA職員合わせて7名が参加しました。各コートで熱戦が繰り広げられるなか、南幌チームは上位トーナメント進出を決める試合で惜しくもフルセットで破れ、最終的には2勝2敗で大会を終えました。

参加した盟友からは、「普段関わりが少ない他単組やJA職員とスポーツで交流をすることができた。なにより誰もけがをすることなく終われてよかった」との感想がありました。

大会終了後には、岩見沢市内のホテルで懇親会が行われ、単組やJA職員の枠を超えて親睦を深めました。

青年部だより

発行者
JAなんぽろ青年部
編集責任者　若杉 宗樹

南幌町農業のポスターコンクールを開催

青年部食育班では、食育食農事業として南幌小学校5年生を対象に、なんぽろ農業ポスターコンクールを開催しました。

今年は「なんぽろでとれる好きな食べ物！」と題して南幌小学校5年生にポスターの製作を依頼し、町内で収穫される好きな野菜を描いてもらいました。

例会時に選考会を設け、金・銀・銅賞を選びました。今回の選考は同票により決選投票が行われるほどの接戦となりました。選考に参加した盟友からは、「今年は絵の上手な子が多く、大変だった」という声が上がるなど、真剣に選考していました。

後日、南幌小学校に報告を行い、入賞者には、南幌町特産品の詰め合わせセットを、コンクールに参加して頂いた児童には参加賞として、なんぽろピュアライスななつぼし2合を贈呈しました。

空知南部ブロック青年部大会に参加

11月14日（木）、岩見沢市の空知農業会館で開催された空知農協青年部南部ブロック青年部大会に、青年部役員3名が参加しました。

大会では、南部ブロックを代表して空知大会で発表を行うJA夕張市青年部とJA月形町青年部による「青年の主張」、JAいわみざわ青年部とJAながぬま青年部による「動画で発信！農の魅力」の発表が行われました。

大会終了後、岩見沢市内のホテルにて空知大会で催されるアームレスリング大会の予選会が開催されました。75kg以上の部に出場した池岡氏は2位と惜しくも優勝には届きませんでしたが、予選勝ち抜けとなり、空知大会の出場が決定しました。その後同会場にて懇親会が行われ、単組間の情報交換を行うなど、空知大会に向けよい大会となりました。

くるるの杜うどん作り体験に参加

11月16日（土）、JAなんぽろ青年部では、ホクレン「くるるの杜」主催のうどん作りに参加しました。

当日は親子7組の21名が体験に訪れ、「くるるの杜」職員の指導のもと、盟友がお手本を見せながらうどん作りが行われました。小麦粉からうどんを作るため、力強く生地をこねたり打ったりと、子供たちは苦戦をしている様子でしたが、お母さんやお父さんと協力しながら楽しく作業をしていました。うどん作りのほかにも、生地を寝かせている間、小麦粉はどのようにできているのかを小麦の生育過程から説明し、質問に答えていました。質問の中には、畑にはどんな虫がいるのかや、農家になった理由などたくさんの質問を受けました。今回のうどん作りは農家が育てている小麦がどのようにして普段皆さんへ届いているのかを知ってもらう良い機会となりました。

第38回南空知ＪＡ女性部長並びに歴代部長会を開催

10月31日（木）、南幌町保健福祉総合センターあいくる内、ふれあいホールにて、第38回南空知ＪＡ女性部長並びに歴代部長会が開催されました。同会は、南空知ＪＡ女性部による輪番制で開催されており、今年度は当ＪＡ女性部が当番を担い、南幌町で開催いたしました。

当日は、７つのＪＡ女性部から30名が参加し、集まった部員の皆様は久しぶりの再会に喜ばれていました。当ＪＡ女性部第28代部長 奈良岡雅子氏の乾杯で始まり、終始会話の絶えない食事時間を過ごされたあと、今年度のアトラクションとして〝単組対抗！モルック大会〟が行われました。今年、函館市で開催されたモルック世界大会に出場した、当ＪＡ職員を講師に招き、分かりやすく丁寧な説明のもと、終始大盛り上がりのアトラクションとなりました。上位3チーム、下位リーグ1位チームには、景品として南幌町の特産品セットが贈られ、喜んでいただきました。終了後のアンケートには、「とても楽しかった」「自身の女性部でもモルックを行いたい」等々たくさんの感想をいただき、当番女性部員一同嬉しく思いました。

短い時間ではありましたが、来年度も元気に再会できるよう祈念し、当ＪＡ女性部第30代部長 松本豊美氏の挨拶にて終了いたしました。

ＪＡ北海道女性大会・北海道家の光大会

11月7日（木）・8日（金）、札幌プリンスホテル国際館パミールにて、ＪＡ北海道女性大会・北海道家の光大会が開催されました。

大会1日目は、家の光記事活用体験発表が行われ、当ＪＡ女性部白倉ひとみ部長が、約４０００人の女性部員の前で発表しました。４名の発表者のうちトップバッターを務め、緊張した様子も見られましたが、練習の成果が大いに発揮され堂々とした発表で、多くの方からご好評いただき、無事に終えることができました。

大会2日目には、初めての試みとなる、「農業ガールズコレクションin北海道」が行われました。各単組、関係機関など合わせて32団体がモデルになりきり、地元の特産品をＰＲしながらステージに登場し、出演者も観客席も大いに盛り上がりを見せました。

２日間、様々な地域の女性部員の皆様と交流しながら、楽しむことのできた大会となりました。

長船技師による営農情報！

IPM（総合的病害虫・雑草管理）とは

本年も、あと残りひと月になりました。ここ数年の気候変動に伴い、今まで見たことがないような病害虫の発生などで防除に苦労が多い年だったと思います。
今月は、農薬に頼らないＩＰＭによる防除体系を紹介したいと思います。

1　IPMとは

病害虫や雑草を、農薬だけでなく、天敵生物や粘着版など、あらゆる手段を駆使して防除することです。徹底的な防除ではなく経済的な被害が出る水準以下に抑える管理方法です。
IPMは①予防的措置②判断③防除の３段階が基本となります。

（１）予防的な措置：病害虫や雑草が発生しにくい環境を作る
- 輪作や圃場の排水性の改善など耕種的対策
- 土壌消毒、抵抗性品種の導入、種子消毒、フェロモン剤を活用した予防

（２）判断：防除の必要性やタイミングの判断
- 北海道病害虫防除所の発生予察情報の活用
- 圃場観察

（３）防除：多様な手法による防除

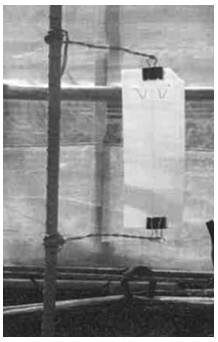
①物理的防除
- アザミウマ類の行動をかく乱する効果を持つ赤色防虫ネットや光反射シートの利用
- 太陽熱を用いた土壌消毒

②生物的防除
- 天敵や微生物、フェロモンなどの利用

③化学的防除
- 化学合成農薬の利用

2　多様な防除方法

ソルゴーによるアザミウマ対策



粘着版によるアブラムシ
アザミウマ対策

フェロモントラップを活用
したカメムシ対策

IPMによる防除体系

判断
防除の必要性やタイミングの判断
- 発生予察情報の活用
- 圃場状況の観察　など

病害虫の発生状況から経済的被害が出ると判断

予防的措置
病害虫・雑草の発生しにくい環境の整備
- 耕種的対策の実施（作期移動、排水対策など）
- 輪作体系の導入　・抵抗性品種の導入
- 伝染源植物の除去　・化学農薬による予防
- フェロモン剤を活用した予防　など

防除
多様な手法による防除
- 生物的防除（天敵など）
- 物理的防除（粘着剤など）
- 化学的防除（化学農薬）
- など

参考資料：農林水産省　総合的害虫・雑草管理（ＩＰＭ）実践指針より抜粋

農業者年金
巡回相談会
開催のお知らせ

講演会形式で行います。終了後に個別相談も可能です。

令和7年1月16日（木）

開会 13:30（所要時間 1 時間 30 分～2 時間）

（13:00 より受付）

場所：JA なんぽろ　２階中会議室

年金を受給する際に気をつけなきゃいけないことってあるの？

私はいつから受け取れるの？
手続きの仕方は？

農業者年金は確定拠出型で、自分で積んだ分が還ってくるから、将来安心！
節税対策にもなるし、入って良かった！

農業者年金に精通した外部講師を招き、農業者年金の受給手続きや仕組みなどをわかりやすく解説いただけます。農業者年金の**受給予定者（59 歳以上）の方**や**ご加入を検討されている方**など、この機会にお気軽にご相談下さい。

また、相談会に参加を希望される方は**令和７年１月９日（木）まで**に下記のお問い合わせ先までご連絡をお願いします。

【お問い合わせ先】　南幌町農業委員会　電話 398-7258　FAX　378-2131

又は　ＪＡなんぽろ　農業振興課　電話 378-2274　FAX　378-0846

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第3回「東野ひでき北海道後援会」の取組み

組織内候補者を擁立して臨んできた過去5回の参議院選挙比例区では、各組織等が精力的に取り組んだ結果、候補者は当選を果たしてきたものの、残念ながら選挙の度に大きく得票数を減らしております。

得票数減少の様々な要因はあるものの、前回選挙の総括では（ア）選挙の意義を組織構成員に伝え機運醸成する組織力の低下、（イ）世代交代や情報発信・接点等不足による候補者の認知度の低下、（ウ）職員、組合員や青年部・女性部盟友等への浸透・徹底不足、（エ）事務局体制の脆弱化等が主な要因としてあげられております。

こうした要因と危機感を踏まえ、改めて組織選挙の意義を共有の上、候補者の認知度を高め、組織力の結集による運動を徹底することが必要不可欠であります。農業・JAを取り巻く厳しい状況下において、JAグループ北海道の政策提案を実現し、組合員の営農と生活を守るためには政治力の強化が極めて重要であります。

今後、JA役職員、組合員、青年部・女性部盟友、関係団体など東野ひでき氏を応援する者の輪を広げていくために、「なかまづくり運動」をはじめ農政学習会の開催、SNSでの発信等を繰り広げてまいります。

ひできのなかまづくり運動

【ひ】…ひとりでも多く!
【で】…できることから!
【き】…きょうから始めよう!

各々が東野ひでき氏支援を依頼する「なかま」を確実に2名以上特定し、さらに、「なかま」1名につき、新たに2名以上の「なかま」を特定し、「なかま」を広げていきましょう。

東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから

【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。
次回（第4回）は、農政活動の仕組みについて紹介します。

東野ひでき北海道後援会

理事会報告
11月25日

11月定例理事会で審議された主な内容について、次のとおり報告申し上げます。

【議　案】

1. 規程の改正について
2. 出資金の減口について

【報告事項】

1. 第7回 営農振興組合長会議の開催結果について
2. エーコープなんぽろ店 上半期の運営状況について
3. 令和6年度 南幌町穀類乾燥調製貯蔵施設の水稲操業状況について
4. 10月末　農産物の保管状況について
5. 10月末　蔬菜販売状況について
6. 定款第54条第3項の規定による利益相反取引について
7. 10月期 JAローンの貸付について
8. 内部監査の実施報告について
9. 令和6年度 負担金の支出について
10. マネロン等の防止にかかる対応状況について
11. 令和6年12月から令和7年4月までの主要日程について
12. 令和7年度　職員採用の内定について
13. 有価証券の取得について
14. マネー・ローンダリング等および反社会的勢力との取引排除に係る対応状況について
15. ヘルプラインの運用実績について
16. 10月末財務状況について

職員人事異動

人事異動は左記の通りです。

退　職（10月20日付）

▽**水沼　諒太**（旧部署：金融部　共済課）

青年部ポスターコンクール受賞作品

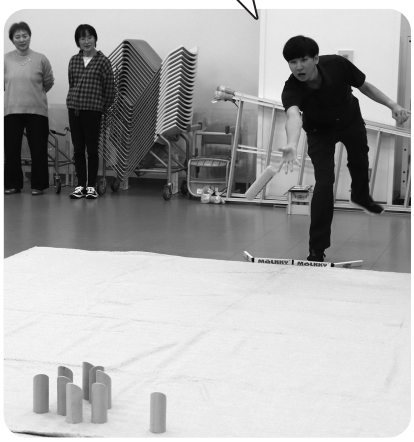
▲金賞（前田千穂さん）

▲銅賞（佐藤奏音さん）

▲銀賞（村井莉乃さん）

編集後記

雪が降り積もり、車の運転も注意が必要な季節になりました。外も急激に寒くなり、外に出たくないくみあいだより担当の上地は、最近買ったドラゴンクエスト3というゲームをを温かい家の中でぬくぬくと進めております。



私達のJA

令和6年10月末日現在

組合員	2,625名
（前年同期比	▲39名）
正組合員	415名
（前年同期比	▲15名）
准組合員	2,210名
（前年同期比	▲24名）
正組合員戸数	261戸
（前年同期比	▲10戸）

発行　南幌町農業協同組合　〒069－0293　空知郡南幌町栄町1丁目4番7号
TEL 011－378－2221（代表）、011－378－2274（直通）　FAX 011－378－0846　発行日　令和6年12月1日　企画・編集　営農部農業振興課　印刷　㈱トリムシステム
ホームページ　http://www.ja-nanporo.or.jp　メールアドレス　koho @ ja-nanporo.or.jp